

JFA

skyhoundz™ news

日本フリスビードッグ協会会報 スカイハウズニュース



- JFAクラブメンバーへメッセージ／ピーター・ブルーム
- '97フリスビードッグフェスティバル in TOKYO
 - 栃木盲導犬チャリティー
 - 東京ドームでデモンストレーション
 - 雪上スポーツドッグ大会
- '97公式シリーズ第1戦・第2戦・第3戦・第4戦
 - インストラクター講習会
 - 今後の活動予定

1997 JULY Vol. 5・6

JFA クラブメンバーのみなさんへメッセージ

会長 ピーター・ブルーム



in TOKYO DOME

もう既に多くの皆さんがご存じのことと思いますが、私とマジックはある重要な目的で、一月に日本に行きました。今回のツアーは、日本フリスビードッグ協会の織原さんの招待の電話から始まりました。彼女は、ニュースキン・ジャパン 第3回コンベンションでショーをしてみないかと言いました。それも場所は東京ドームで、3万人余りの観客の前でと言うのです。もちろん私は「Yes」と答えました。それまでに東京ドームは何度も見たことはありましたが、中へ入ったことは一度もありませんでした。

私は、初心者用のトレーニングのショーのために権藤さんと愛犬ティオー、少し上級者用のショーのために関口さんと愛犬ローザの応援を依頼しました。彼らの協力があったからこそ、私はマジックとのショーを引き受けたのです。

私達は、寒いけど素晴らしい晴れ渡った日に日本へ到着しました。そして二週間の検疫を受けました。検疫の影響を心配していたのですが、何もなかったようです。なぜなら、ショーは大成功で、大歓声のうちに終わりました。ショーの後、関口さんが権藤さんに抱きついて目に涙を浮かべていたのを覚えています。私は彼の気持ちに本当によく分かりました。20年間プロとしてフリスビーをやってきて、何度彼と同じ気持ちになったことでしょうか。ストレスやプレッシャーが、なおいっそう感情を高めるのです。そして関口さんのように、ステージを下りてから内に秘めていた感情は外へ出てしまうのです。

そしてもう一つ、ショーの後で権藤さんの顔を流れる汗を見て大笑いしたのを思い出します。だって彼はほんの10時間前のリハーサルの時、ドームは寒くてTシャツなんか着てられないと文句を言っていたのに、たった3分間のステージに上がっただけで汗びっしょりになっていたんですから。私は当然からかってやりました。

ショーの後ロッカールームで、雑誌の記者達からコメントを求められました。「最初に、このショーに協力してくれた仲間達にお礼を言いたいです。今日のことは、フリスビードッグがいかに素晴らしいスポーツであるかを皆に証明できたと思います。誰でも自分の庭で犬と遊ぶことができるし、日本フリスビードッグ協会のイベントに参加しながら競技にも参加できるし、またエンターテイメントとして犬と演技することもできます。コンファメーション、フライボール、アジリティ等他の犬のスポーツは、今日私達が感じたような達成感はありません。その達成感がフリスビードッグを特別なものに行っているんです。」

今、私とマジックはアメリカの家にいます。そして私の言葉が本当に真実だったと感じています。フリスビー以外にこんなに犬と仲良くなれるスポーツは他にはありません。特に、2歳の私の息子がフリスビーを投げるのを見て本当にそう思います。マジックは誰が投げようと、どんなに的を外れた所に飛んでいこうと構わないのです。ただ遊びたいそれだけなのです。

今このことを胸に刻んで、あなたの犬とおもいっきり遊んで下さい。子供達とおもいっきり楽しんで下さい。

JFA

今後の大会スケジュール

- 7月5日(土) ■北海道帯広市「フリスビードッグイベント」
～6日(日) 公式シリーズ第6戦・チャレンジ大会
ピーター・ブルームによるデモンストレーションおよび HOW TO スクール
- 7月20日(日) ■新潟県新潟市「フリスビードッグサマーカーニバル in 新潟」
～21日(祝) オープントーナメント大会
フリーフライト大会
オープン大会
チャレンジ大会
第2回小学生大会・第2回中学生大会
第3回レディース大会
第2回親子ペア大会・第2回男女ペア大会
HOW TO スクール
- 9月14日(日) ■神奈川県内で公式シリーズ第7戦他「フリスビードッグフェスティバル」
15日(祝) in 神奈川」開催
- 10月 ■札幌市にて「フリスビードッグ in 札幌」開催(予定)
■千葉県浦安市でオープントーナメント大会他で参加予定(主催浦安市)
■関西地区において「フリスビードッグフェスティバル」開催(予定)
■東京都内で「フリスビードッグフェスティバル」(プレイベント)開催(予定)
■東京都内で'97ファイナル戦開催(予定)
- 11月 ■'97大阪動物フェスティバル参加

その他、テーマパークのオープニングイベントや椎名誠のやまがた林間学校など出演・参加の予定です。

FRISBEE DOG EVENT



2/9 '97公式シリーズ第1戦

静岡県富士市

2月9日、いよいよ1997年日本frisbeeドッグ選手権シリーズがスタートしました。

第1戦は、静岡県富士市の富士川緑地で開催され、公式シリーズ戦には、66チーム、同時開催のチャレンジカップ大会には、31チームのエントリーがありました。関東周辺からのエントリーが多いものの、北海道や関西の兵庫県からも多数のエントリーがあり、今シーズンのシリーズ戦にかける気合いが感じられる大会でした。

当日は、天候にも恵まれ、富士山をバックに良く管理された芝生の上でのびのびとしたプレーが展開されました。どのチームも河川敷の会場とあって、風との知恵くらべをしてfrisbeeを投げていましたが、昨年より、風に対するスローイングがかなり上達しており、安定したスローイングが目につきました。

この大会には、ピーターブルーム会長も来場しており、ファイナルラウンドのジャッジを担当するなどメンバーの方々と交流を楽しみました。

結果は、公式シリーズ戦優勝で秋に開催されるファイナル大会のキップを手にした井上弘之・ディジーチーム（東京都）を先頭に、高野寿・らんチーム（東京都）、関西は大阪府よりエントリーの団野悦郎・ケープチーム、能代谷正治・海王チーム（東京都）、大久保啓介・ゴンチーム（神奈川県）と続き、地元東海地区では、静岡県の島田健次・ウィルチームが7位に入る健闘ぶりを見せてくれました。

チャレンジカップ大会では、1位、2位を地元静岡チームの斉藤寛進・ブライトチームと林康男・ライヤチームが入り、東海地区の実力を見せてくれました。



3/16 '97公式シリーズ第2戦

栃木県小山市

3月16日、公式シリーズ第2戦栃木県小山市思川緑地大会が地元の方々のご協力によって開催されました。会場の思川緑地は、昨年も公式大会を開催しており、きれいに整備された芝生の上でもいっきりにプレーを楽しむことができました。

小山市役所様を始め、関係スタッフの方々に感謝致します。

競技の方は、1ラウンド目は、兵庫県よりエントリーの八木卓也・ロビチームが22ポイントのトップを取り、遠征チームの力を見せつけてくれたのを始め、千葉の早川利幸・ガムチームが21ポイントの2位、3位に神奈川県の清水仁・アンディチームが18ポイントと続きました。2ラウンド目は、東京の高野寿・まいチームが23ポイントでトップ。続いて、千葉の眞中隆・ルビーチームが22ポイントと1ラウンド目より、好ポイントをゲットし順位を入れ替えさせます。そしてファイナルラウンドでは、ふたたび早川利幸・ガムチームが23ポイントをゲットし、上位を狙いましたが、早川・ガムチームは、2ラウンド目の6ポイントが得点に大きく影響し、3位に甘んじてしまいました。そして優勝は、眞中隆・ルビーチームのトータル58ポイントで決定し、今シーズン初出場でチャンピオンの座を獲得しました。



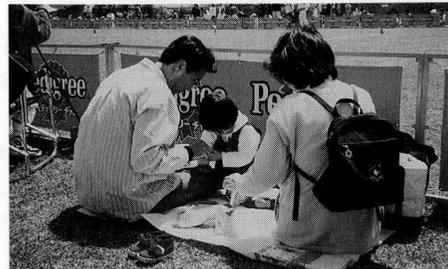
4/20 '97公式シリーズ第3戦

新潟県新潟市

4月20日、新潟市阿賀野川河川公園にて、開催されました。新潟大会は、過去の大会すべてが天候になやまされ、エントリーチームを始め、私達協会スタッフを苦勞させましたが、今大会は、晴天に恵まれ、すばらしいフリスビードッグ日和となりました。

会場も、新潟市東土木事務所のご協力により、すばらしいフィールドを提供してもらいました。エントリーの方は、ゴールデンウィークに東京でフリスビードッグフェスティバルが控えているにもかかわらず、北海道や関西からもエントリーがあり、大変に活気づいた大会となりました。

結果は、北海道よりエントリーした柳生昌男・ブルチームが安定したポイントを取り優勝。地元新潟は、須藤充・チットチームが3位に入る健闘を見せてくれました



盲導犬チャリティー フリスビードッグ栃木県大会

1月26日(財)栃木盲導犬センター

今年度の協会スケジュールは1月26日の'97盲導犬チャリティーフリスビードッグ栃木大会でスタートしました。公式シリーズ戦ではないものの、今シーズン初めての大会とあって、競技会を楽しみにしていたチームがエントリーしました。オープン大会38チーム、チャレンジ大会44チーム合計82チームのエントリーです。

今大会は、(財)栃木盲導犬センターとの共催で行なわれ、会場は、栃木盲導犬センターグラウンドにて開催されました。

当日は、1月と言う季節から、寒い日でもありましたが、日中は、太陽にも恵まれ、参加したチームは、おもいおmoiのプレーを楽しみました。大会では、盲導犬の紹介を始め、パピーウォーカー紹介、地元栃木県の飯塚豊さんによるアジリティとフライボールの紹介、池沢昭協会インストラクターによるフリスビードッグしつけ教室等も行なわれ、今シーズンの楽しい幕開けとなりました。この他当日は、トーナメント大会も合わせて開催され、オープン大会や、チャレンジ大会と一味違った競技も皆さんで楽しみました。



全日本雪上スポーツドッグ選手権

2月16日 新潟県十日町市 犬ぞりフェスタin十日町雪まつり

3月30日 新潟県津南町 '97カガンカップ

全日本雪上スポーツドッグ選手権シリーズ全3戦は、第1戦、2月16日新潟県十日町市上越国際当間スキー場で開催されました。雪像ギネスを持つ十日町雪まつりイベント行事の1つとしての開催です。

第2戦は、2月23日、新潟県笹神村新潟ロシア村での開催予定でしたが、雪不足との判断から中止となり、第3戦は、3月30日に新潟県津南町のマウンテンパーク津南カガンにて開催されました。

どの大会も、競技は、犬ぞり1DOG・2DOG・バルカマッシング、フリスビードッグ、アジリティ、DOG&ランと多彩な種目で行なわれ、雪の寒さを忘れるほど熱中する大会となりました。

'97 フリスビードッグフェスティバル in TOKYO

5月3、4、5日東京都昭島市

熱戦繰り広げる約400チームに
がんばれ〜！ ナイスキャッチ!!と
のべ7,000人のギャラリーも大満足の3日間

日本frisbeedog協会としては初めての3日間という大フェスティバルは5/3・4・5東京都昭島市で盛大に開催されました。

約400チームが参加し、連日連夜(?)のカワイク、華麗でパワフルな競技に、延べ7,000人ものギャラリーも、frisbeedogの魅力をとっぴりと味わえたのではないのでしょうか。(ちょっと待ち時間が長かった部分は本当にゴ

メンナサイ。)

今回初めて行われた小学生大会・中学生大会や一投ごとに交互に投げる男女ペア大会・親子ペア大会など、またひとつ新しい楽しさを見つげられたような気がします。

そこで、今回は初めて大会に参加された方やこれから頑張ってfrisbeedogのトレーニングをやろうと熱くなっている方など多勢の

方々からコメントをいただきましたので、そのまま筆で掲載させていただき、その熱き心をビリビリ感じとっていただきたいと思います。本当に楽しかったな〜！ 皆さんありがとう!! (足が棒ようになった中年スタッフより)
※ご支援いただきました昭島市長様はじめ関係者の皆様にご場をおかりして心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



5月3日 公式オープントーナメント大会

通常の競技形式と違い、1戦ごとに明暗の分かれるトーナメントならではの勝ち抜き戦。一投の重みを感じさせる緊張感溢れる大会となり、安定したポイントで見事、井上&ディジーチームが優勝となりました。

5月3日 第1回小型犬大会

初めて開催された小型犬だけの大会でしたが、その可愛い走りや観客も大声援！ピョコン!!と見事なジャンピングキャッチが印象に残る大会でした。

優勝は名前のとおり元気な動きを見せてくれた六角&元気チームとなりました。

5月3日 チャレンジ大会

2ケタが上位入賞のボーダーラインとなった今回のチャレンジ大会でしたが、5投全てをゲットし、22ポイントで横田&こなつチームが見事優勝しました。

5月4日 公式シリーズ第4戦

83チームのエントリーとなった公式第4戦は、前日のトーナメント戦を制した井上&ディジーチームが1R、2R、決勝ラウンドともに5投全てにポイントをゲット。強豪を振り切り2日連続の優勝となり、井上&ディジーチームにとっては正に『ゴールデン・ウィーク』となりました。

5月4日 チャレンジ大会

前日に続いて行われたチャレンジ大会は、倍以上のエントリーの中、1投のミスに涙を飲む大会となりましたが、日頃の練習の成果を上手く発揮できた永井&銀太チームが逆転優勝。これからが楽しみなチームが多かった大会でした。

5月5日 第1回小学生大会

家族みんなで参加していただいた『こどもの日大会』。小学生の部門では24チームものエントリーがあり、公式戦さながらの熱戦が繰り広げられました。スローイングには定評のある長谷川(元)&クムチームが第1回の栄冠を手に入れました。愛犬との普段の楽しい様子が手に取るようにわかるほほえましい大会でした。

5月5日 第1回中学生大会

7チームのエントリーで行われた中学生大会でしたが、大人も顔負けのスローイングと愛犬とのコンビネーションで見事、坂本&ビスチームが優勝となりました。



5月5日

第1回男女ペア大会

JFAオリジナルルールによるペア部門のひとつ「男女ペア大会」。ペアを組んだ2人の協力でいかにポイントをあげられるかがその焦点となりましたが、ご夫婦で協力するなんて久しぶり!?のペアもチラホラ……。見応えのある楽しい大会となりました。優勝は海老原・高野&らんチームでした。

5月5日

第1回親子ペア大会

「お父さん、上手に投げて!」「お母さん、リラックス リラックス!」なんて声が聞こえてきそうなくらい、子供達の上手さにビックリの親子ペア大会。お母さんのプレッシャーをやわらげながら確実にポイントを重ねた坂本桂子・曜子&ビスチームが見事優勝を飾りました。

5月5日

第2回レディース大会

27名の女性の華麗なる戦いは男性顔負けの高得点が見られるなど、見応え十分でした。1Rに34ポイントという驚異の高ポイントを生かした長谷川(ジュンコ)&レイチームが優勝しました。

5月3日・5日

レトリブ大会

明日のファイナルチャンピオンを狙うビギナーチームが続々登場。3日は石川&パディチームと対馬&ロッキーチームが優勝を分け、5日は高野&キョッチンチームが優勝となりました。frisbeedogの楽しさを再認識させてくれた大会でした。

INFORMATION



インターネットで frisbeedogの 最新情報を……

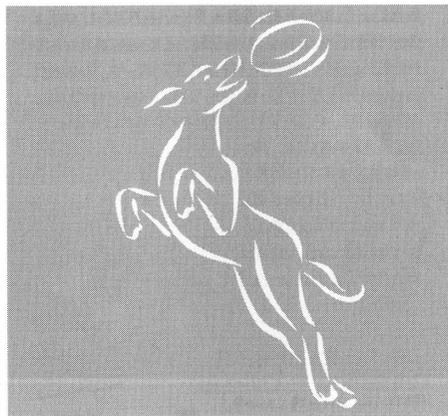
協会では、インターネットにて情報を提供しています。

メンバーの原田泰さんの協力により、原田さんのホームページにfrisbeedogの最新情報を掲載しています。

会報より早く、情報が入手出来ます。是非お気軽にご利用下さい。

ホームページのアドレスは、

<http://gegehouse.geijutsu.tsukuba.ac.jp/>
です。



Metacafe mini distance

Location: <http://gegehouse.geijutsu.tsukuba.ac.jp/frames0002/0001minides.html>

ミニディスタンス・ルール

ミニディスタンス競技は、各競技に特有のルールと、同競技のような状態でキャッチできるかを試みます。同じくこのポイント制で採点し、各競技の最終ポイント合計を比べて順位となります。ポイントは、スローイングラインから犬がfrisbeeをキャッチした地点、(スローイングラインにも無い場合)犬の距離と、完全にジャンプしてキャッチしたかどうかで異なります。

●ポイントの判定 50mm

●スローイングラインから15m以内でキャッチ

0 point

●スローイングラインから15m-22.5m以内でキャッチした場合は、または
第1回競技に準ずると同じく、スローイングラインから15m以内でキャッチした場合は
●犬がキャッチする前に投げたfrisbeeが地面に落ちた場合は
【100%のスコアを減らす場合があります】
●frisbeeコート外に落ちた場合は

●スローイングラインから15m-22.5m以内で完全にジャンプしてキャッチした場合は

2 points

●スローイングラインから22.5m-30m以内で完全にジャンプしてキャッチした場合は

4 points

●スローイングラインから30m以上35m以内で完全にジャンプしてキャッチした場合は

6 points

●スローイングラインから35m以上50m以内で完全にジャンプしてキャッチした場合は

5 points

●スローイングラインから50m以上60m以内で完全にジャンプしてキャッチした場合は

●注意事項

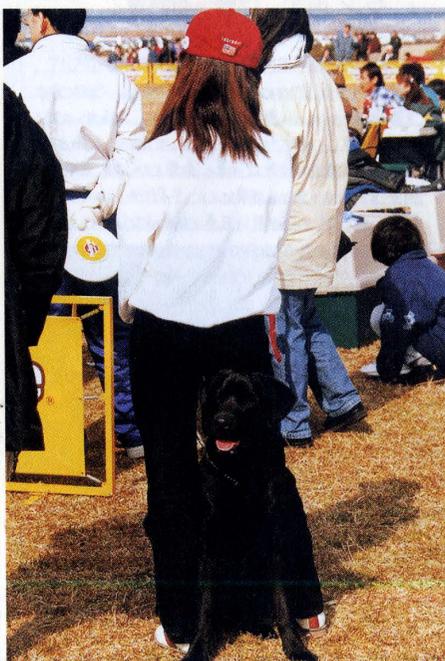
FRISBEE DOG INFORMATION 犬・猫・鳥・小動物
本会の開催は必ず犬・猫・鳥・小動物の安全を最優先で行われます。
copyright © 1996 Yuzuru Harada

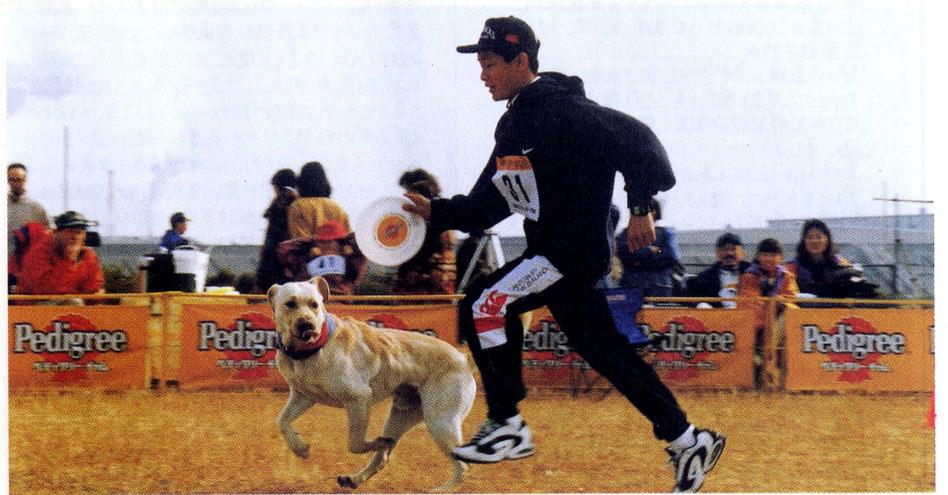
JFA フォトギャラリー

各大会での本部スタッフによるベストショットを集めてみました。その中でもタイトルフォトに使わせていただいた写真が今回のベストオブベストに輝きました。

ミニフリスビーをくわえたその華麗な姿は将来のフリスビードッグクイーンの素質十分です。この子のお母さん、もしこの写真をご覧になったら協会本部事務局まで是非ご連絡ください。プレゼントを差し上げたいと思います。

Tel. 025-234-2100 [担当：五十嵐]





25,000人を魅了!!



ピーターブルーム&マジック in 東京ドーム



ピーター&マジックとチームスカイハウズ

2月15日 ニュースキンジャパン第3回コンベンション



ここで皆さんにご報告です。

実は、ピーターブルーム会長と愛犬マジックが2月に来日してました。協会設立以来初めての愛犬マジックの来日です。

なぜ来日したかと言いますと、NU SKINのイベントに参加するために来日したのです。

本場アメリカのフリスビードッグを日本の皆さんに紹介したいと考えたNU SKINがぜひ愛犬と一緒に来日してほしいとラブコールを送ったからです。

ピーター会長は、日本の検疫システムがアメリカに比べ大きく違うので、多少の不安がありました。愛犬との来日にOKを出し実現しました。ピーター会長とマジックは、1月下旬に成田に到着し、2週間の検疫に入りました。ピ

ーター会長は、近くのホテルをベースに毎日、マジックに会いに飛行場へ通いました。到着してから16日目で検疫が終了し、晴れて日本の土を踏んだマジックは、元気そのものでした。

検疫所では、係の女性スタッフ全員がとても親切でピーター会長とマジックと仲良しになりました。

この場を借りて検疫所スタッフの方々にお礼を申し上げます。

さて、イベントの方ですが、2月15日(土)に東京ドームで行われました。約25,000人の観衆が見守る中で行われ、今回のイベントのために特別にチームを組んだ権藤泰広・テイオーチームと関口行廣・ローザチームの協力により無事デモンストレーションを行うことができました。

た。

今回会員の皆さんには、愛犬マジックとのデモンストレーションをお見せしたかったのですが、残念ながらNU SKIN関係者しか東京ドームには入場できないためにご案内することができませんでした。

また、次回にチャンスがあったらご案内したいと思いますのでご了承ください。

この愛犬マジックとの来日の様子は、ピーター会長が毎月発行の月刊WANに記事を書いているのでご存じの方も多いと思いますが、まだ読んだことのない方は、書店で買って読んでください。WANには、毎月ピーター会長がフリスビードッグの記事を書いていますので、ぜひご覧ください。



JFA会長ピーター・ブルームによる

HOW TO SCHOOL

2月16日 埼玉県浦和市 秋ヶ瀬公園

2月16日、東京ドームでのイベント出演を終えたピーター会長が埼玉県浦和市の秋ヶ瀬公園にて HOW TO スクールを開催しました。

当日は、朝からあいにくの雨でしたが、それにもかかわらず熱心なメンバーが集まりました。

家を出る時は、天候がみぞれだったので、「どうしようかな?」と思いながら、山梨県より参加されたメンバーの方や、こんな雨なので今日は中止だなと思いつつも一応行ってみるかなと集まった方ばかりでした。

ピーター会長は、一人でも私のスクールを受講したいメンバーの方がいれば雨でもやりたいと話し、結果的には、雨の中のスクール開校となりました。しかし、途中から雨も上がり、参加者とピーターは、たっぴりと時間をかけながらスクールを行うことができました。

次回は、秋に予定しておりますので、ぜひご参加ください。

'97ワークドッグウィーク in TAMAGAWA

4月5日、6日 玉川高島屋

2日間ともあいにくの雨で、急処室内ホールでの実施となりましたが、家族連れも多く、限られたスペースでしたが、ふれ愛を重視した内容で、フリスビードッグの楽しさを少しでも感じていただけたのではないのでしょうか。また、会場内に設置された『スタンプ倶楽部』のワンちゃんとのツーショットも人気で、順番を待つ人たちができる程でした。中でもデモンストレーターの若林&ジェイソンチームのスタンプはジェイソンの顔が真っ黒で何が何だかわからず大ウケでした。来年はぜひ晴れてほしいものです。

(実は私の顔も真っ黒でした!)



'97ふれ愛ペット博

4月29日、30日、5月1日 大阪府

警察犬、盲導犬、アジリティーのデモンストレーションの方々と一緒にフリスビードッグも HOW TO とデモンストレーションをお見せしました。砂利の敷かれた会場でしたが、ベストを尽くし、来場者の皆さんも満足されたのではないのでしょうか。また、他のデモンストレーションで出演されていた方々とも情報交換ができ、交流を深めることのできたイベントでした。

フリスビードッグ初級インストラクター講習会

2月8日
静岡県富士市
朝霧高原グリーンパーク



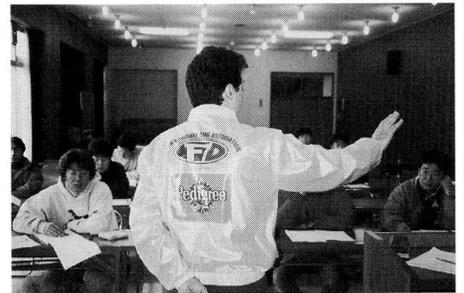
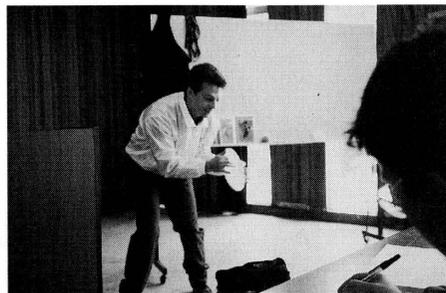
ピーターブルーム会長の来日中に、今年度初めてのインストラクター講習会が2月8日静岡県富士宮市の朝霧高原グリーンパークで開催されました。

講習会に参加された会員の方々は、北海道から九州まで幅広い地域より集まりました。

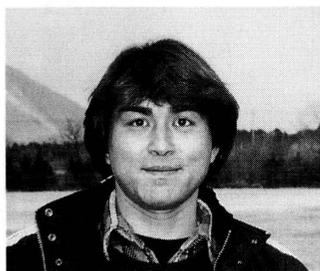
午前中はフリスビードッグのトレーニングを始める前の基本知識の講習を行い、午後からは、フリスビーの扱い方や実際に犬を使つての実践トレーニングを行いました。

参加者の方々は、フリスビードッグワールドチャンピオンであるピーター会長より、一つでも多くのことを学び取ろうと熱心に講習を受けていました。次回は秋に開催予定です。

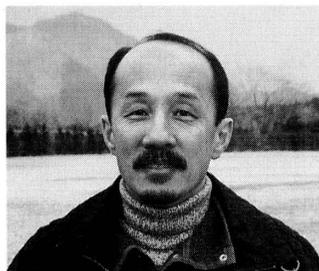
今回インストラクターに認定された方は、以下のメンバーの方々です。



インストラクター名簿



鈴木 敬幸 01423 静岡県



水野 祥二 01694 静岡県



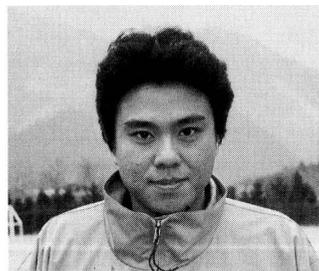
斉藤 豪夫 01561 静岡県



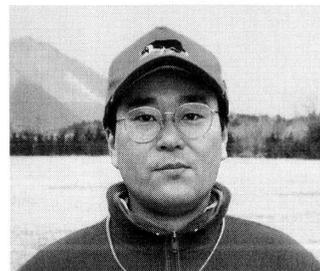
仙田 敬司 01607 静岡県



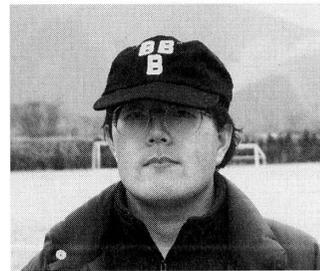
栗本 正幸 01674 神奈川県



谷野 孝光 01654 神奈川県

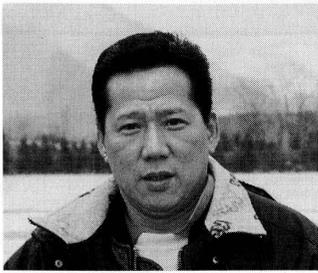


笹子 雅司 01108 東京都



作田 孝行 01504 東京都

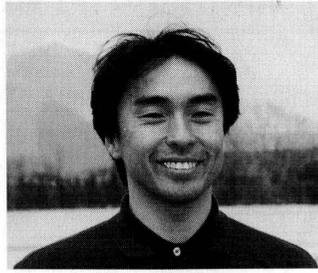
インストラクター名簿



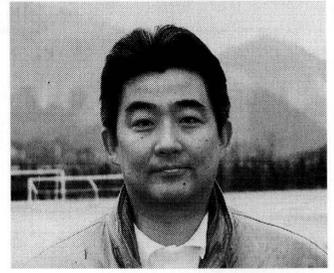
高木 建治 01577 東京都



神尾美知子 01092 東京都



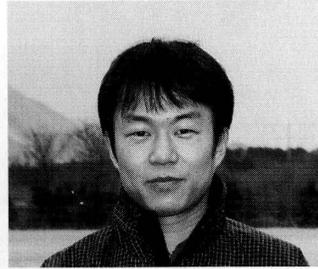
東 治彦 01088 東京都



榊原 整 01714 東京都



柳生 昌男 01603 北海道



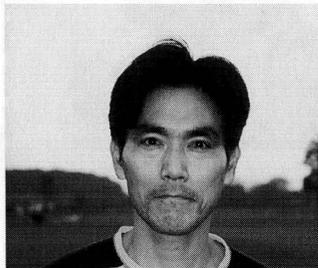
伊東 拓栄 01645 大阪府



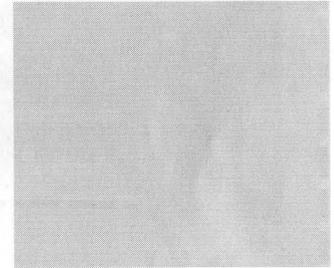
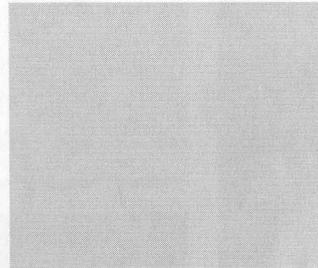
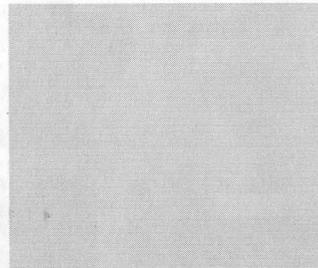
西牟田 潔 01767 佐賀県



西牟田智美 01767 佐賀県



横山 直正 01473 静岡県



'96.11.4 インストラクター認定者

| | | |
|------------------|-----------------|-----------------|
| 内海 徹 01120 静岡県 | 関口 洋之 01422 千葉県 | 斉藤 孝行 01134 東京都 |
| 湯澤 祥子 01039 栃木県 | 上瀧 浩一 01400 千葉県 | 三本 鉄麗 01666 東京都 |
| 池沢 昭 01204 栃木県 | 安藤由美子 01266 千葉県 | 権藤 泰応 01182 東京都 |
| 池沢 清隆 01141 栃木県 | 早川 利幸 01083 千葉県 | 岡村 一雄 01395 札幌市 |
| 安積三千男 01451 神奈川県 | 菊地美奈子 01338 千葉県 | 三木 久 01650 山梨県 |
| 鈴木 了 01306 神奈川県 | 木下 佳子 01374 新潟県 | 関口 行広 01123 埼玉県 |
| 堀口 満 01424 神奈川県 | 古俣 伸子 01021 新潟県 | |

最新^秘情報を一挙公開!!

最新^秘情報 その2

その1の^秘情報はニューデザインのスプーを連日見事にキャッチしている犬達が多い事から^秘情報からはカットいたしますので、この場をおかりしておわびいたします。(^秘情報担当

者)という原稿を書いているちょうどその時、またまた驚愕の情報が私のもとに飛び込んできた!! その情報とは…! 最終版であなただけにお教えします。(決して一人では読まないで

ください。)

どないせ〜ちゅうねん、ほんまに!

(関西方面の方するとい突込みありがとうございます。)

最新(秘)情報を一挙公開!!

最新(秘)情報 最終版

日本フリスビードッグ協会本部事務局が引越しました。新しいご連絡先は下記の通りです。文も6月16日(月)より右記へお願いいたします。

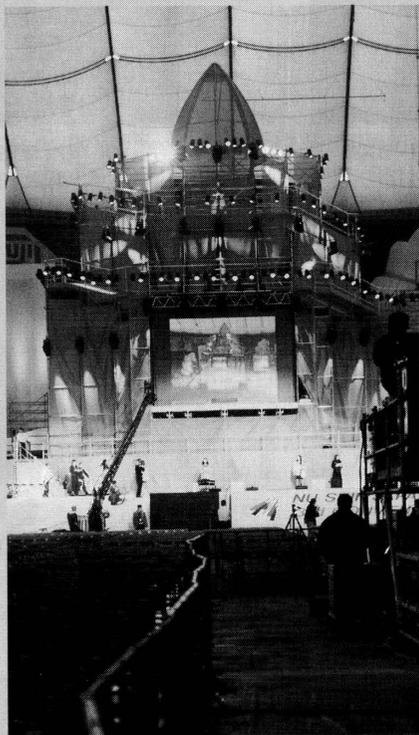
日本フリスビードッグ協会本部事務局ご連絡先

TEL 025-234-2100

FAX 025-234-2101

〒951 新潟市川岸町3丁目20-6 ナシモビル1F

秘スナッフ



編集後記

最初に会報の発行が大変遅くなったことをお詫びいたします。今後、会報の内容も大会の結果報告だけにならないよう、できる限り内容盛り沢山の楽しいものにしていこうと考えています。会報名もskyhoundz Newsとなり、形態や内容等もどんどん改良し、変化をつけていくつもりですので、何かと読みづらい部分もでてくるかもわか

りませんが、ご容赦いただきたいと思います。又、会員の方々や関係者の方々にも原稿をお願いする場合もあると思いますので、是非ご協力いただければと思います。尚、皆さんからの多くの情報、イラスト、写真等もどんどん送ってください。お待ちしております。(スカイハウズニュース編集局)

日本フリスビードッグ協会会報第5・6号合併号 vol.5・6

(季刊発刊 年4回発行 特別号 年2回発行)

編集・発行 日本フリスビードッグ協会

印刷 新高速印刷株式会社

禁無断転載



ORIGINAL GOODS

JFA会員向け 通信販売 NEWS

- ① フリスビードッグ公式frisbee (ディスク)
当協会では、公式ディスクとして本場米国同様、Frisbee®discファーストバックモデルをおすすめします。Frisbee®discファーストバックモデルは、ほとんどの犬がくわえやすい形状で、かつ小さい力で安定した飛行が得られるようになってきています。(公認大会はすべて、Frisbee®discファーストバックモデルの使用が義務づけられています。)
- ② ハンドタオル600円
- ③ Tシャツ2,600円
- ④ トレーニングビデオ (日本語吹替30分)5,000円
- ⑤ スローイングビデオ (日本語吹替25分)4,500円
- ⑥ '96フリスビードッグ世界選手権ビデオ (45分)4,000円

- ⑦ Dog, Disc, and wind CD-ROM4,000円
- ⑧ トレーニング本1,890円
- ⑨ ロングリード (25mm×5m 2種類)3,000円
- ⑩ // (15mm×14m)4,000円
- ⑪ JFA 公式ハンドブック500円
- ⑫ ミニfrisbee-5枚セット (直径10cm)1,000円
- ⑬ カーステッカー (Frisbee Dog 29.7cm×10.5cm)500円
- ⑭ // (フリスビードッグ移動中 29.7cm×10.5cm)500円
- ⑮ // (アメリカ製 29cm×9.4cm)500円
- ⑯ キーホルダー400円
- ⑰ ブローチ2,000円

- ⑱ ウォーターボトル800円
- ⑲ トレーナー (ブラック)6,800円

〈注意点〉

frisbeeによるトレーニングや運動を始める前に必ず愛犬が健康上問題がない事を確認してください。又、frisbeeは必ず道路から離れ、障害物のない野原などで行ってください。ガラスの破片やその他危険物がない事も忘れずに確認してください。

トレーニングにはロングリードなどを利用し、その他地域で決められている動物に関する規則には従うように気をつけてください。又、frisbeeを愛犬に絶対、食べさせないで下さい。

| 日本フリスビードッグ協会公認 ファーストバックfrisbee | | |
|-----------------------------------|---------|-------------------------|
| | 会員価格 | 一般価格 |
| 9枚以下 | 1枚 700円 | 1枚 1,200円 |
| 19枚以上 | 1枚 600円 | 基本的には会員の為の販売を目的としております。 |
| 20枚以上 | 1枚 500円 | |

※frisbee及びfrisbeedogはマテル社の登録商標です。

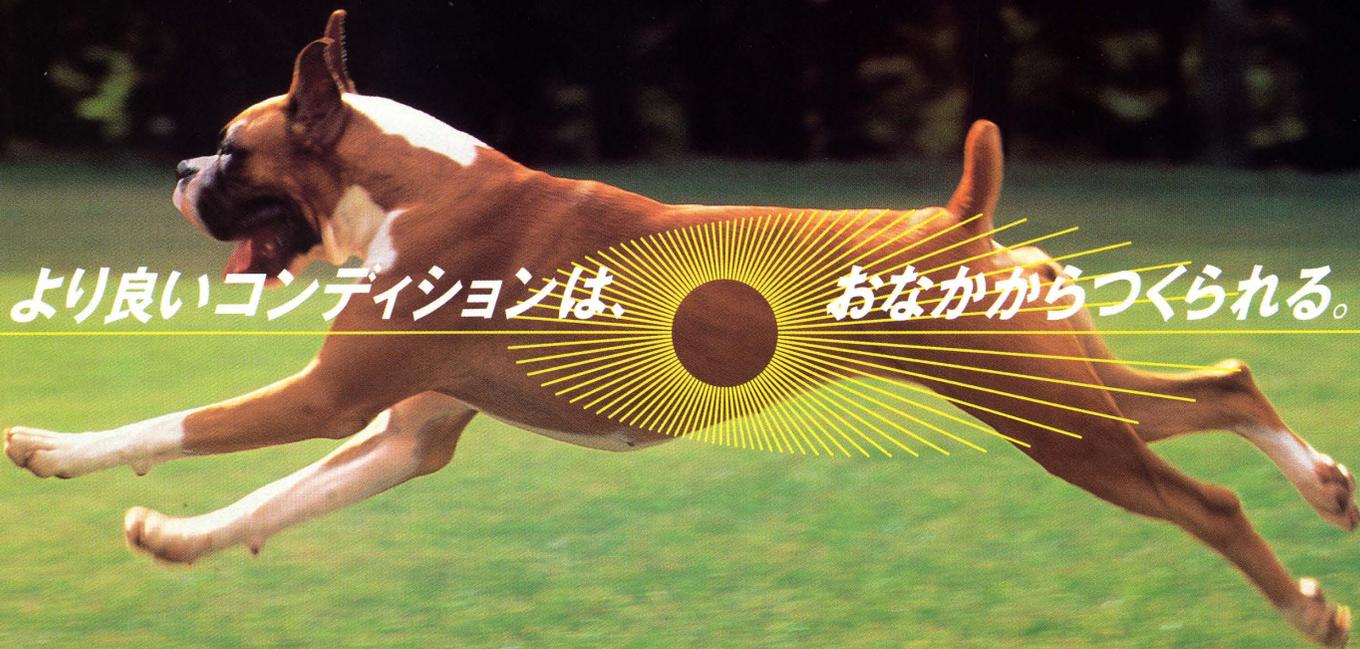
申し込み先

日本フリスビードッグ協会 事務局

TEL 025-234-2100

※申し込み時に必ず会員No.を申告して下さい

上記の価格は、97年7月1日現在のものです。(税込み。送料は別途。デザイン等は変更になる場合もあります。)



より良いコンディションは、おなかからつくられる。

食物繊維が入った
新“ペディグリー チャム”誕生。

食物繊維が腸に働くことで、

愛犬に必要な栄養を確実に消化・吸収することができます。

チャンピオン犬を育てる栄養がバランスよく含まれた“ペディグリー チャム”に食物繊維が入りました。食物繊維が愛犬の腸内環境を整えることに着目した“ペディグリー チャム”が、ペットケアとペット栄養学の世界最高権威である“ウォルサム”と共に開発。性質の異なる可溶性と不溶性の食物繊維を理想的なバランスで加えたことにより、消化・吸収力を整え、愛犬をおなかから健康にします。愛犬のトップコンディションを保つために“ウォルサム”と共に開発された“ペディグリー チャム”は、常に愛犬にとって理想のドッグフードなのです。



獣医師と開発
‘トップブリーダー推奨’™

ペディグリー チャム®



ウォルサム®
ペットケアとペット栄養学の
世界最高権威

“ウォルサム”は、1965年に設立されたペットケアとペット栄養学の研究機関です。獣医学者、栄養学者、生化学者、動物行動学者、繁殖学者など、世界各地に点在する1000人以上もの研究者が、専門的な知識と経験をもとにペットの栄養と行動についての詳細な研究を続けています。その研究成果は、獣医師などを対象としたシンポジウムやセミナーなどで発表され、世界中の学術団体やペットの栄養学および行動学の分野にも貢献していることが広く認められています。そしてこの“ウォルサム”と共にすべての“ペディグリー チャム”製品は開発されています。

● 英語版“ウォルサム”インターネット ホームページアドレス <http://www.waltham.com>

© Master Foods